（様式：小学校用）

令和４年度　学校図書館基本計画・評価シート

足立区立梅島小学校　　校長　近津　勉

１　学校教育目標

○進んで学習する子ども　○仲良く助け合う子ども　○礼儀正しい子ども　○元気でじょうぶな子ども

２　学校図書館の目標・ねらい　ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

①　児童の読書に対する意欲を高め、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
②　多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
③　様々な取り組みを通して読書の楽しさに触れ、日常的に読書に親しむ態度を養う。
④　学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

３　学校図書館の現状（令和３年度末）

蔵書状況

①　蔵書数 11,903 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 114.9%（前年度末 112.8%）
②　新規購入図書 591 冊　／　廃棄図書 451 冊　／増減冊数 140 冊

分類	総記０類	哲学１類	歴史２類	社会３類	自然４類	技術５類	産業６類	芸術７類	言語８類	文学９類
蔵書構成割合	1.4%	0.7%	6.5%	7.0%	13.4%	4.8%	3.7%	7.2%	2.3%	52.9%
＊国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

①　開館時間：授業時 昼休み（月木）　（前年度からの変更　あり・[なし]）
②　児童一人あたりの年間平均貸出冊数　41.6 冊（前年度：41.7 冊）
③　１か月に２冊以上読む児童　72.5%　（前年度：71.4%）

（令和４年度末）

蔵書状況

①　蔵書数　11,742 冊（蔵書基準冊数 10,360 冊）／ 蔵書率 113.3%（前年度末 114.9%）
②　新規購入図書 700 冊　／　廃棄図書 868 冊　／増減冊数－168 冊

分類	総記０類	哲学１類	歴史２類	社会３類	自然４類	技術５類	産業６類	芸術７類	言語８類	文学９類
蔵書構成割合	1.7%	0.9%	6.8%	7.2%	13.6%	5.2%	4.1%	7.0%	2.3%	51.2%
＊国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

①　開館時間：授業時間　中休み昼休み（月木）　（前年度からの変更　[あり]・なし）
②　児童一人あたりの年間平均貸出冊数　39 冊（前年度末：41.6 冊）
③　１か月に２冊以上読む児童　70.5%（前年度末：　72.5%）

４　目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第１学年

①　読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。
②　学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を養う。
③　文章を丁寧に読む力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館を利用し、授業で読み聞かせを聞いたり、物語を読んだりして、本を手に取る機会が増える。 ②学校図書館の利用の仕方について知る。 ③絵本や読み物について読書し、その内容や感想を友達に伝えることができる。	①読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 80%以上。 ②学校図書館オリエンテーションを実施した学級 100% ③各クラス月２回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。年間２回以上、クラスで交流する。

目標達成状況

①1 日３０分以上の読書をした児童割合は平均４６％で目標を達成できなかった。
②学校図書館の利用方法を知る等、全学級でオリエンテーションを実施できた。
③図書館利用回数を達成できた。交流においては、国語題材と関連させ、交流を達成できた。

第２学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を養う。 ③ 図鑑や科学的な読み物の読み方を知り、情報を集めようとする意欲を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守り、読み聞かせを聞いたり、物語を読んだりすることができる。 ③図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容や感想を友達に伝えることができる。	①読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 80%以上。 ②各クラス月２回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③年間２回以上発表カードを作成しクラス内で交流する。

目標達成状況

①1 日３０分以上の読書をした児童割合は平均７７％で目標を達成できなかった。
②学校図書館の利用方法や本の配置を知る等、全学級で目標回数を実施できた。
③国語題材と関連させ、クラス内での交流を実施できた。

第３学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養う。 ③資料や情報を集めて活用できる力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本をじっくり読み、それに関連する本についても興味の幅を広げながら読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、調べたり、読書したりすることができる。 ③辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。	①読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 65%以上。 ②各クラス月２回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が 65%以上。

目標達成状況

①春・秋の読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 65%で目標を達成できた。
②各クラス月２回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。
③計画的に学年で取り組み､調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は 88%で目標を達成できた。

第４学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養う。 ③多様な資料や情報を収集・活用することができる力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、調べたり、読書したりすることができる。 ③辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。	①読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 65%以上。 ②各クラス月２回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が 70%以上。

目標達成状況

①春・秋の読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 65%で目標を達成できた。
②各クラス月２回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。
③計画的に学年で取り組み､調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は 99%で目標を達成できた。

第５学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養う。 ③計画的に資料や情報を収集し、適切に活用する力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守り、比較して読んだり、深めたりしながら読書することができる。 ③複数の本を活用して調べたり考えたりしたことをまとめ、説明することができる。	①読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 50%以上。 ②各クラス月１回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が 75%以上。

目標達成状況

①春・秋の読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 71%で目標を達成できた。
②各クラス月１回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。
③計画的に学年で取り組み､調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は 99%で目標を達成できた。

第６学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養う。 ③計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守り、比較して読んだり、深めたりしながら読書することができる。 ③複数の本や新聞等を活用して調べたり考えたりしたことをまとめ、説明することができる。	①読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 50%以上。 ②各クラス月１回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が 75%以上。

目標達成状況

①春・秋の読書週間を利用して、１日に 30 分以上本を読む学年児童の割合が 71%で目標を達成できた。
②各クラス月１回以上、読書や探究活動の学習を学校図書館で行うことができた。
③計画的に学年で取り組み、調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合は 98%で目標を達成できた。

５　学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ○蔵書率の低い 0、１類を中心に蔵書構成の向上に努める。ＩＣＴ機器の利用増加に伴い、活用のヒントとなるような本を積極的に選書する。 ○新規購入リストの第一次案作成を６月中に行い速やかな配架を目指す。	○0 類は 0.3%、1 類は 0.2%蔵書率を向上させることができた。9 類の蔵書数が多く、割合を上げることが難しいが、引き続き基準値を意識した蔵書構成を目指していく。 ○第一次案を６月までに作成できた。また巡回販売を活用したことで各学年の希望を含め購入計画を立てることができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ○支援員と図書担当で連携を密にとり、計画的に活動計画に取り組み、学年目標を達成できるようにする。学校全体で教科横断的な計画を立て、調べる学習コンクールの参加率を向上させる。	○週２回顔を合わせ、月１回の業務計画会議を行えたことで、密に連携を取ることができた。各学年の調べる学習コンクール出品率は平均 96%で目標を大きく上回った。
【その他】 ○読書週間では開館日数を増やし、委員会児童による企画展示に取り組む等、児童が主体的に読書を楽しめるような工夫を検討していく。 ○新規本棚購入による、廃棄・新刊配架を進める。それに合わせ図書ボランティアと連携をとり児童目線でわかりやすい館内案内図を更新する。	○全校で取り組んだ「もったいない大作戦」では、SDGｓ，ゴミ，アップサイクル等の資料を児童が選書しコーナー展示を行えた。 ○本棚が配置され、４類以降の書籍の保管スペースを増やすことができた。

６　学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

○学級、図書担当、支援員との連携をスムーズにすることで、資料収集や学級貸出を活用し各教科へ図書を活用することができた。高学年向けの調べ学習用資料をさらに充実させ、タブレットと併用しながら学習できる環境を整えていく。
○読書週間では低学年クラスで読書時間の目標を達成できていない。次年度は各学年の目標設定を見直し、短時間でも集中して取り組めるようにする。また、図書委員会児童と協力し、主体的に読書が楽しめるような計画を工夫していく。
○引き続き、基準値を見通した購入計画を進めていく。不足する 0～4、8 類の蔵書率向上を目指す。

７　学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

学校図書館の利用、読書週間の活動を通し、児童の読書時間や意欲の向上につながっている。家庭に読書カードを持ち帰ることで、親子で本について会話するきっかけにもなっている。時間を決めるなど工夫して、継続して読書してほしい。また、様々な分類に触れ、語彙や見聞を広げるきっかけとしてほしい。